

「ふれあい看護体験 2020」実施要領

ふれあい看護体験は、県民の方々が医療・看護・介護関係者と一緒に、これからの保健医療福祉について考える機会となり、実施施設にとっては、地域とのコミュニケーションや、情報提供の場となっています。

毎年、「看護の日・看護週間」の一環として、全国的に開催されています。また、医療・看護・介護の仕事をめざす方々への、現場での触れ合い、進路決定の後押しともなる、貴重な機会提供の場として、ぜひ前向きにとらえていただきたい事業です。

実施施設、として看護協会ホームページに掲載希望の場合は、下記要領をご参照の上、お申込みください。

1. 掲載希望の申込み期限・申込方法

申込期限： 令和2年3月20日(金)必着

申込方法： 別紙(1)の申込書を下記、埼玉県看護協会までFAXしてください

FAX 048-624-3331

2. 実施日・内容

各施設にて自由に計画・実施してください。

(昨年の実施例を別紙(3)の裏面に載せました。ご参考までにご覧ください)

3. 実施報告

実施後、2週間以内に別紙(2)「ふれあい看護実施報告書」に記入の上、FAXにてご報告ください。(参加者がなく、実施しなかった場合もお知らせ下さい。また、8月以降に実施される施設につきましては、速やかにお知らせください)

【広報について】

埼玉県看護協会ホームページに、実施施設一覧表と日程を掲載します。

【体験希望者の申込みについて】

ホームページでの掲載内容は、施設名と実施日、電話番号です。直接、参加者から電話にて申込みがありますので、ご対応ください。

【お問い合わせ先】

公益社団法人 埼玉県看護協会

ふれあい看護体験担当： 作山

TEL： 048-624-3300

ふれあい看護体験 報告書 2020

〔送付先〕 ⇒ 埼玉県看護協会 Fax 048-624-3331

※ 実施後、または実施予定日後、2 週間以内に Fax して下さい。
 8 月以降の実施施設につきましては終わり次第、速やかに Fax して下さい。

貴施設名	ご担当者名 (役職:)
電 話 : E メールアドレス :	F A X :

どちらかに○をつけてください。

ふれあい看護体験を **実施した** ・ **実施しない**
 (又は参加申込者なし)

実施した場合は、下記 報告書にご記入をお願いします。

実施報告書

参 加 者	名	内訳) 中学 年生 名 (男 名 ・ 女 名)
		高校 年生 名 (男 名 ・ 女 名)
		年生 名 (男 名 ・ 女 名)
		一般 名 (男 名 ・ 女 名)
実施日時	令和 2 年 月 日 ()	
場 所	施 設 内	
	施 設 外	
実施内容		

※ 実施内容については、個人の特定ができない形で、今後の事業 PR 活動のため、使用させていただくこともあります。
 予めご了承ください。ご都合の悪いことがございましたら、お知らせください。



ふれあい看護体験 2020

参加施設募集中！

～看護の心を みんなの  に～

「ふれあい看護体験」とは

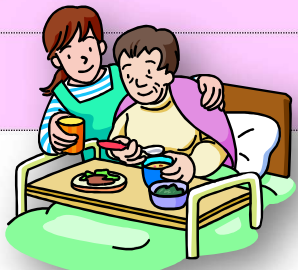
「ふれあい看護体験」は、市民のために保健医療福祉施設がドアを開き、見学や簡単な看護体験、関係者との交流などを行うイベントです。病院、老人保健施設、特別養護老人ホーム、訪問看護ステーションがそれぞれにユニークなプログラムで実施します。市民の方が医療・看護・介護関係者と一緒にこれからの保健医療福祉について考えたり、実施施設にて地域とのコミュニケーションや情報提供を受けたりする、貴重な場となっています。

2020 年の今年は、「看護の日・看護週間」制定 30 周年・ナイチンゲール生誕 200 周年の記念の年となります。知識と技術を持つプロフェッショナルとしての看護の本質を伝えるために、一人でも、多くの方に現場を見ていただき、イメージを形にするきっかけとしていただきたいと思います。

2019 年度は、埼玉県内の 118 施設にて、1,905 人の県民の方々に、看護体験をしていただきました。参加者は学生から社会人の方など、広い層にわたっています。今年も、多数の施設のご参加を、お待ちしております。

同封いたしました案内をご覧ください、ぜひ、ご参加ください。

ふれあい看護体験の実施例

受付・更衣	オリエンテーション、VD 視聴、白衣体験、記念撮影など。
病棟見学 	外来、放射線室、薬剤室、臨床検査室、調理室、図書室、手術室-器具の説明、手術台体験、リハビリテーション等の見学、など。
看護体験 	手洗い講座、各病棟での看護体験、病院食・治療食の説明・試食、A E D体験、高齢者・妊婦疑似体験、バイタルサイン測定、手浴・足浴、配膳・下膳、食事介助、シーツ交換、口腔ケア、ストレッチャー搬送、車椅子体験、電子カルテ入力、看護師・看護学生、患者さんとの交流会、個別進路相談など。
訪問看護ステーション	同行訪問、清拭援助など。 

♪参加者の声♪

オープンキャンパス等にも参加していて、元々看護師になりたいという思いはあったが、今回で患者さんに対する私たちの存在がとても大きいことが分かった。看護師になり、患者さんの大切な存在になれる看護師になりたいと思った。若いうちに資格を取った方が良いと聞いて今から大学進学まで、この経験を忘れず、頑張りたいと思った。

患者さんの不安を減らすための声掛けやケアを見て、すごいと思った。

体験しなきゃ分からない事だらけで、これから医療従事者になるのに、とても良い体験でした。

実際の患者さんとのかわり方や仕事の大変さがわかりました。患者さんが話してくださったり、リクリエーションで笑顔を見せてくださったりしたのがとても嬉しかったです。

実際に看護師の制服を着させていただいて、今日一日中、色々な体験ができて、改めて、絶対、看護師になって、人の命を助ける手伝いが出来たらいいなと思いました。

訪問看護を体験させていただく機会は滅多にないと思うので、とても貴重な体験でした。患者さんにとっては入院するよりも自宅の方が安心できる環境なんだ、と実感できました。「看護師」と聞くと病棟で働く看護師さんと思いつかべてしまいがちですが、様々な場所で活躍していることを知ることができました。この経験を活かして、これからも勉強頑張ります。

※ 吹き出し内は、「ふれあい看護体験 2019」参加者の皆さまからいただいた感想です。